

2019年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2018年10月17日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告 2

2019年2月期 第2四半期決算概況 3

2019年2月期 通期業績の見通し 14

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 27



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2019年2月期 第2四半期決算概況
2019年2月期 通期業績見通し



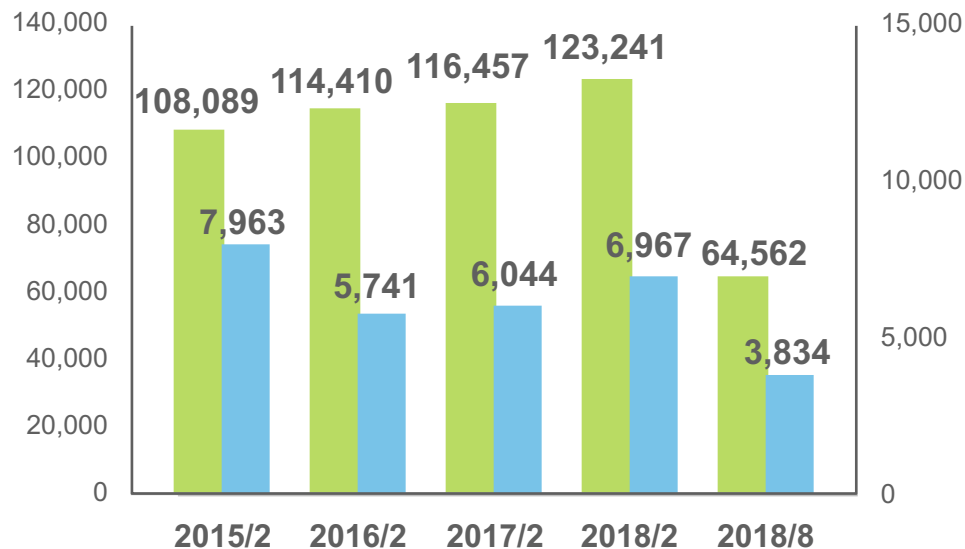
上期を振り返って

- 売上高：地震・大雨・台風など自然災害による営業活動の停止の影響があったものの、EC販売の好調(前年同期間比137.5%)などにより、7.2%増収となった。
- 利益率：109系ブランドの思い切った事業縮小に踏み切ったこと、及び一部の雑貨業態の不振による粗利率の悪化はあったが、販管費の圧縮により増益となった。

連結

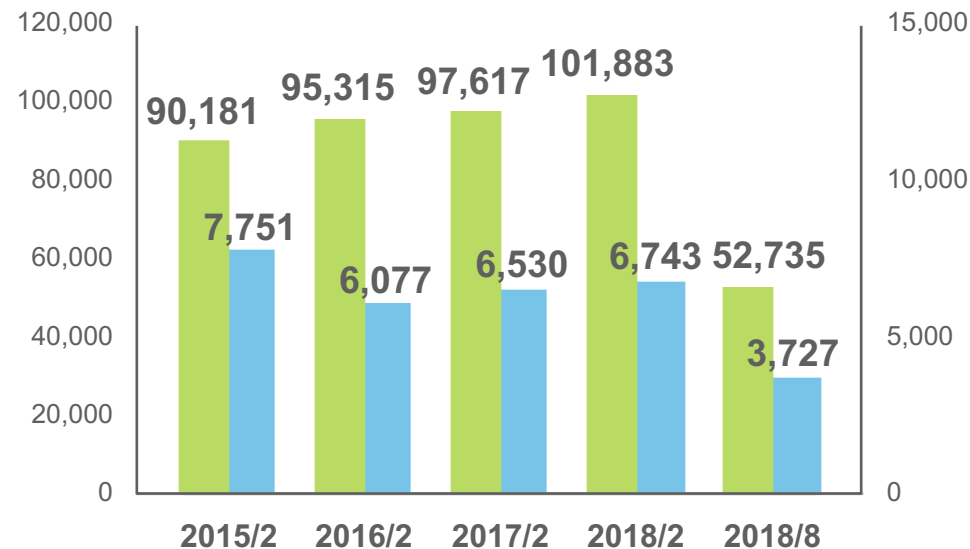
■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル ■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



単位:百万円

	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期			
		公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	60,228	66,340	64,562	107.2%	97.3%
売上総利益	34,158	37,770	36,170	105.9%	95.8%
(売上比)	56.7%	56.9%	56.0%	—	—
営業利益	3,654	3,890	3,897	106.7%	100.2%
(売上比)	6.1%	5.9%	6.0%	—	—
経常利益	3,627	3,750	3,834	105.7%	102.2%
(売上比)	6.0%	5.7%	5.9%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,959	2,130	2,201	112.4%	103.3%
(売上比)	3.3%	3.2%	3.4%	—	—

- 売上は、(株)オリーブ・デ・オリーブの売上が寄与。地震や相次ぐ天候不順により公表値には届かなかったものの、前年同期間比7.2%増収確保。
- 109系ブランドの事業縮小・一部の雑貨業態の不振により粗利率が低下したが、賃料比率の改善により、販管費率が低下したことから、営業利益・経常利益・当期純利益は最高益を更新。

単位:百万円

	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	
		実績	前年同期比
売上高	50,200	52,735	105.0%
売上総利益	28,884	30,067	104.1%
(売上比)	57.5%	57.0%	—
営業利益	3,546	3,748	105.7%
(売上比)	7.1%	7.1%	—
経常利益	3,533	3,727	105.5%
(売上比)	7.0%	7.1%	—
当期純利益	2,882	4,636	160.9%
(売上比)	5.7%	8.8%	—

- 本年度より、グループ各社からの(株)パルグループホールディングス宛経営指導料について、内部取引をグループ各社の経常利益に影響させないよう、売上に計上せず、経常利益算出後の処理を行なうよう変更したことから、昨年同期間実績も比較のため、同様の処理をしたものとして反映(連結決算には影響なし)。
- 本年度より、グループ内の資金効率化を図るため、(株)パルグループホールディングスに集約するため、グループ各社からの受取配当率を100%に引き上げたことから、当期純利益が大幅に増加。

単位:百万円

	2017年8月期 実績	2018年8月期 実績	前年比
売上高	5,410	5,674	104.9%
営業利益	363	345	95.1%
経常利益	388	354	91.3%
当期純利益	224	198	88.5%

- EC主体に増収となるも、アウトレットが不調で既存店売上が△5.1%となり、そのため在庫処分増加により粗利率が0.9ポイント悪化。
また、求人難による人件費増(6.5%増)もあって、減益となった。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

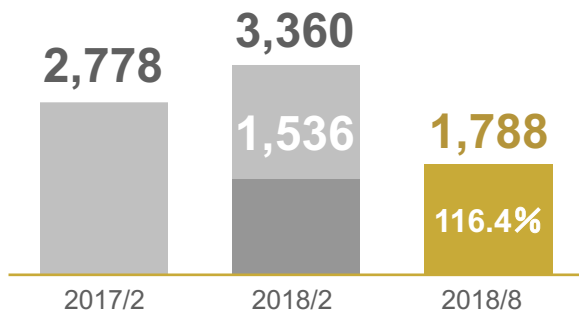
単位:百万円

		2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	前年同期比
衣料				
	売上高	43,007	46,539	108.2%
	構成比	71.4%	72.1%	
	営業利益	2,221	2,525	113.7%
	営業利益率	5.2%	5.4%	
雑貨				
	売上高	17,169	17,971	104.7%
	構成比	28.5%	27.8%	
	営業利益	1,431	1,361	95.1%
	営業利益率	8.3%	7.6%	
その他				
	売上高	52	51	99.6%
		2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高				
	ZOZO TOWN	3,314	4,653	140.5%
	自社PALCLOSET	824	1,280	155.4%
	その他	845	918	108.6%
	合計	4,983	6,854	137.5%
	対衣料売上高比率	11.6%	14.7%	3.1P

- (株)オリーブ・デ・オリーブの営業譲渡により衣料部門の構成比がやや上昇するも、雑貨業態は引き続き順調に拡大。ただし、500円超を主体とするサリュエにおいて買換え需要が弱まり、雑貨業態の利益率は悪化した。EC売上高は、自社サイトを中心に引き続き拡大し、衣料部門に占める比率も3.1ポイント上昇。

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイルスタイルの発見。

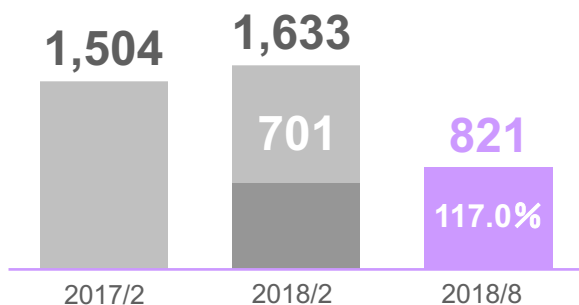
カスタネ

店舗数 22店舗



売上高

単位:百万円



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

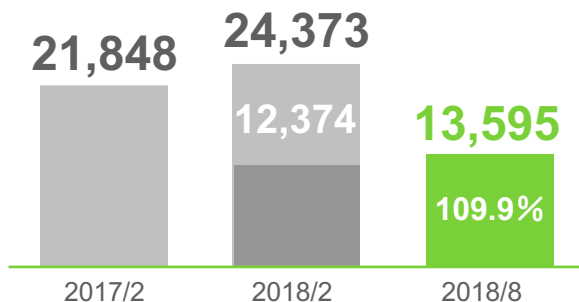
ルイス

店舗数 11店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE 3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝いする雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・アクセサリなどの商品を、ベーシックなものから楽しくなるようなカラフルな色使いのものまで、300円を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 189店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

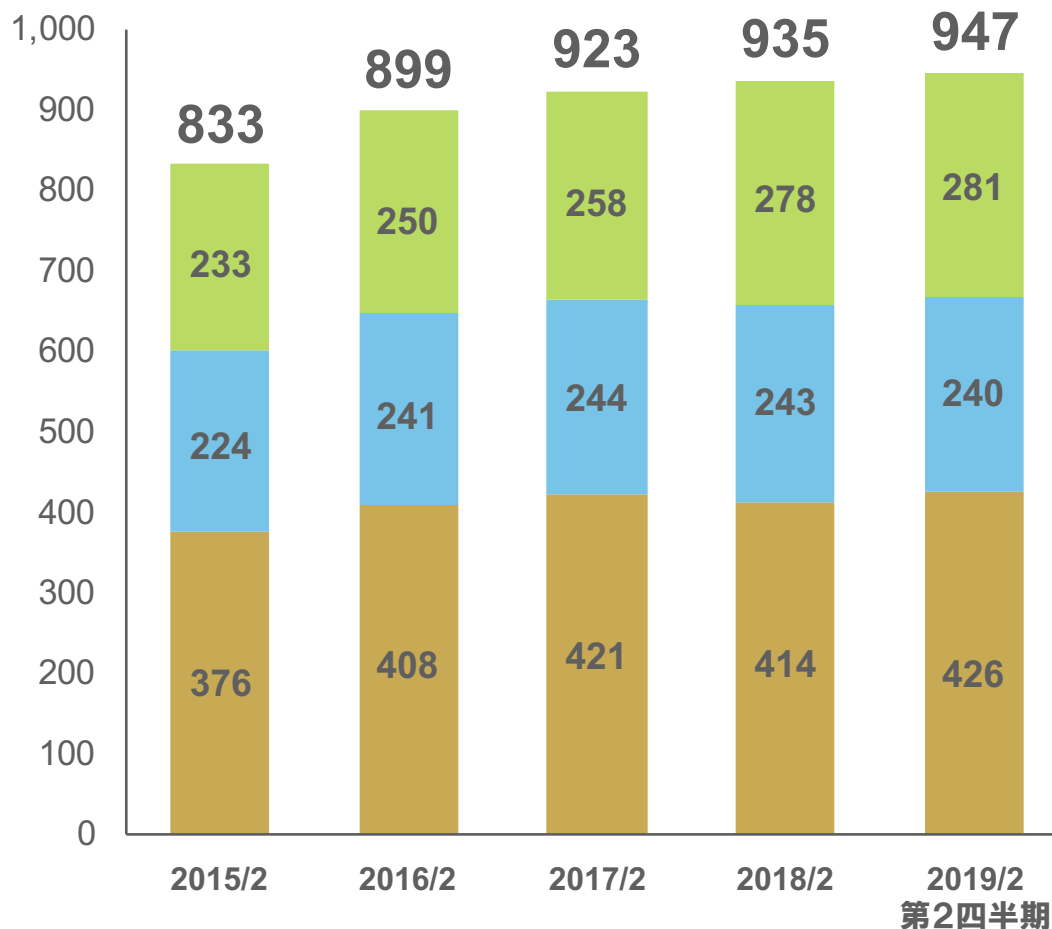
単位:百万円

	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	前年同期比
単体	25,337	26,319	103.9%
連結	30,503	32,272	105.8%
販管费率(連結ベース)	50.6%	50.0%	△0.6P
人件费率	19.6%	19.1%	△0.5P
賃料费率	16.6%	15.6%	△1.0P
広告宣伝费率	0.3%	1.2%	0.9P

- 賃料比率が1.0ポイント改善し、広告宣伝费率の増加0.9ポイントあったものの、販管費比率は、0.6ポイント改善。

第2四半期末店舗数947店舗 (前期末比12店舗増)

- その他地方
- 関西圏
- 関東圏



● 出退店状況

出店40店舗、退店は28店舗により純増12店舗。このほか、業態変更が3店舗。

● 各ブランドの出店状況

3 Coinsは、旺盛な出店要請が続いており、今期もすでに12店舗の出店を行った(退店は4店舗)。セクシー系ブランド全般の低迷から、英インターナショナル(株)は、店舗数を大幅に縮小し、渋谷109とEC販売に経営資源を集中するため、9店舗の退店を行った。

単位:百万円

	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期
固定資産売却益	—	310
特別利益合計	—	310
固定資産除却損	153	99
減損損失	347	278
特別損失合計	501	377

- 不動産売却による特別利益310百万円計上。
- 退店等に伴う固定資産除却損99百万円と減損損失278百万円の合計377百万円を特別損失に計上。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2018年2月期	2019年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	58,190	62,289	4,099	
現金及び預金	40,728	43,034	2,306	
売掛金	5,194	6,490	1,296	
たな卸資産	9,920	10,916	996	
その他	2,347	1,848	△499	
固定資産	24,699	24,344	△355	
有形固定資産	8,233	8,160	△73	
無形固定資産	637	898	261	
投資その他の資産	15,828	15,285	△543	
資産合計	82,890	86,634	3,744	
流動負債	30,091	33,964	3,873	
固定負債	14,323	13,658	△665	
負債合計	44,415	47,622	3,207	
純資産合計	38,475	39,011	536	
負債資本合計	82,890	86,634	3,744	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,406	5,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△794	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,209	△2,896
現金及び現金同等物の増加(減少)額	△1,598	2,306
現金及び現金同等物の期首残高	35,959	40,728
現金及び現金同等物の期末残高	34,294	43,034

- 営業活動のキャッシュフローの昨年比増加要因は、主に、仕入債務の増加による1,555百万円、法人税支払額の減少(昨年2,869百万円→当期720百万円)などによる。

単位:百万円

1. 連結

	2018年2月期	2019年上期	2019年下期	2019年2月期	前期比
売上高	123,241	64,562	68,948	133,510	108.3%
売上総利益	68,751	36,170	39,470	75,640	110.0%
販売管理費	61,708	32,272	34,378	66,650	108.0%
営業利益	7,042	3,897	5,093	8,990	127.7%
経常利益	6,967	3,834	4,886	8,720	125.2%
特別損益	△2,038	△67	△533	△600	29.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,489	2,201	2,729	4,930	198.1%
粗利率	55.8%	56.0%	57.2%	56.7%	0.9P

2. (株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

	2018年2月期	2019年上期	2019年下期	2019年2月期	前期比
売上高	101,883	52,735	54,565	107,300	105.3%
売上総利益	57,632	30,067	31,463	61,530	106.8%
販売管理費	50,834	26,319	27,571	53,890	106.0%
営業利益	6,798	3,748	3,892	7,640	112.4%
経常利益	6,743	3,727	3,663	7,390	109.6%
特別損益	△3,435	△25	△575	△600	17.5%
当期純利益	948	4,636	2,154	6,790	716.2%
粗利率	56.6%	57.0%	57.7%	57.3%	0.7P

- 通期見通しについては、従来から不変。

2019年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

()内、現時点の確定数

	2018年2月期	2019年8月末	2019年2月期 期末予想
新規店舗数	57	40	59(56)
事業譲受による増加店舗数	32		
退店店舗数	77	28	35(35)
店舗数純増	12	12	24(21)
会計年度末の店舗数	935	947	959(956)

2. 既存店売上の状況

(パルグループ各社の合計)

	2018年2月期	2019年2月期 上期累計実績	2019年2月期 下期累計見通し	2019年2月期
既存店売上推移	103.2	102.4	102.0	102.0
うち小売既存店売上高	100.0	99.7	100.0	100.0
うちネット通販既存店売上高	148.8	128.8	140.0	135.0

	2018年3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存店売上推移	105.7	99.9	96.6	104.8	101.2	107.2
うち小売既存店売上高	104.6	97.4	93.1	102.2	98.4	103.6
うちネット通販既存店売上高	118.6	125.3	131.3	124.3	123.6	143.1

3. 全店売上の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	109.3	102.1	99.9	106.5	103.7	110.0	107.2
うちEC	128.1	137.3	145.0	135.0	130.8	152.1	137.5

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比(第二四半期累計)	客数前年度比(第二四半期累計)
衣料事業	97.0%	104.1%
雑貨事業	97.5%	101.8%
全体	98.5%	102.1%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

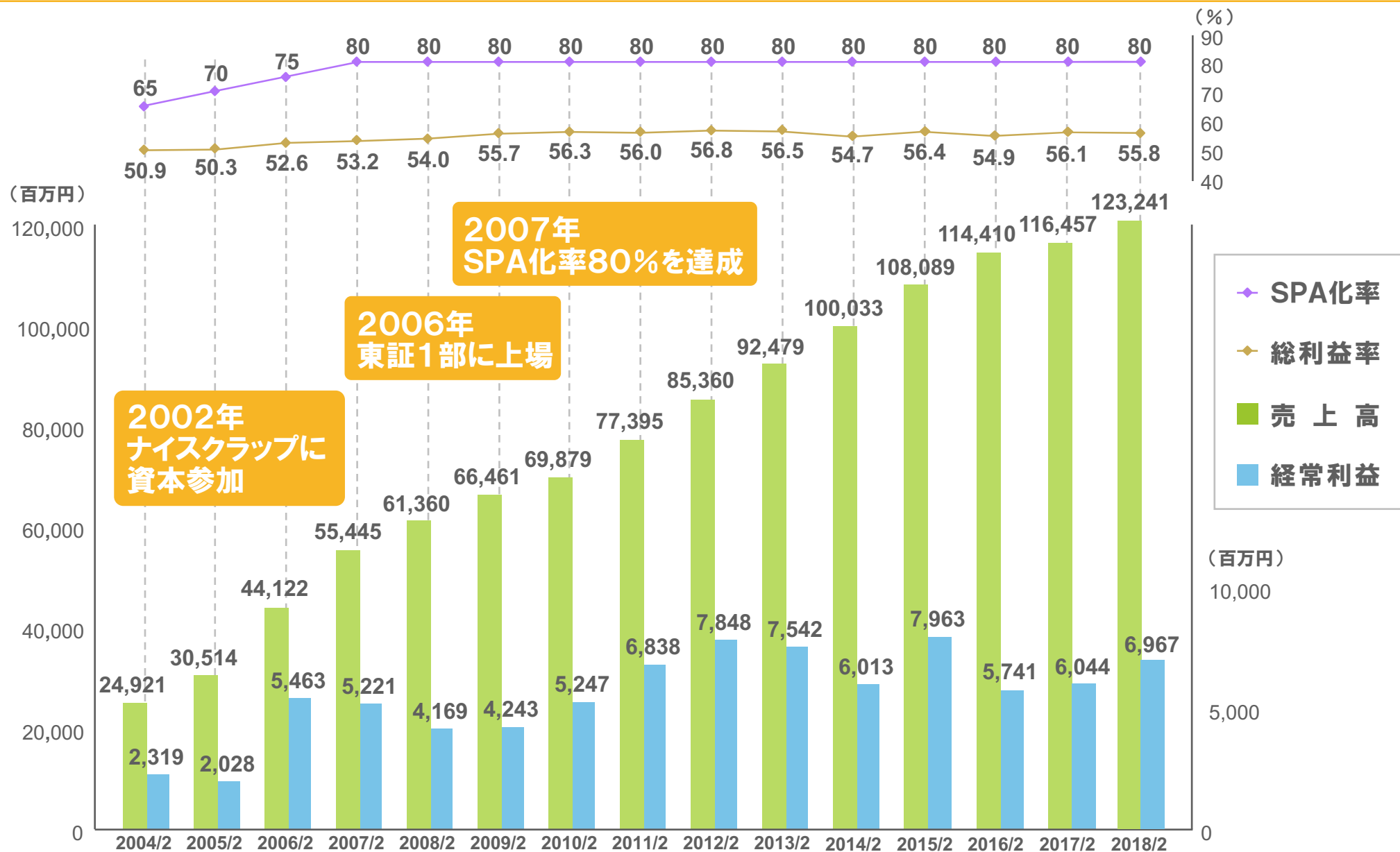
経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン



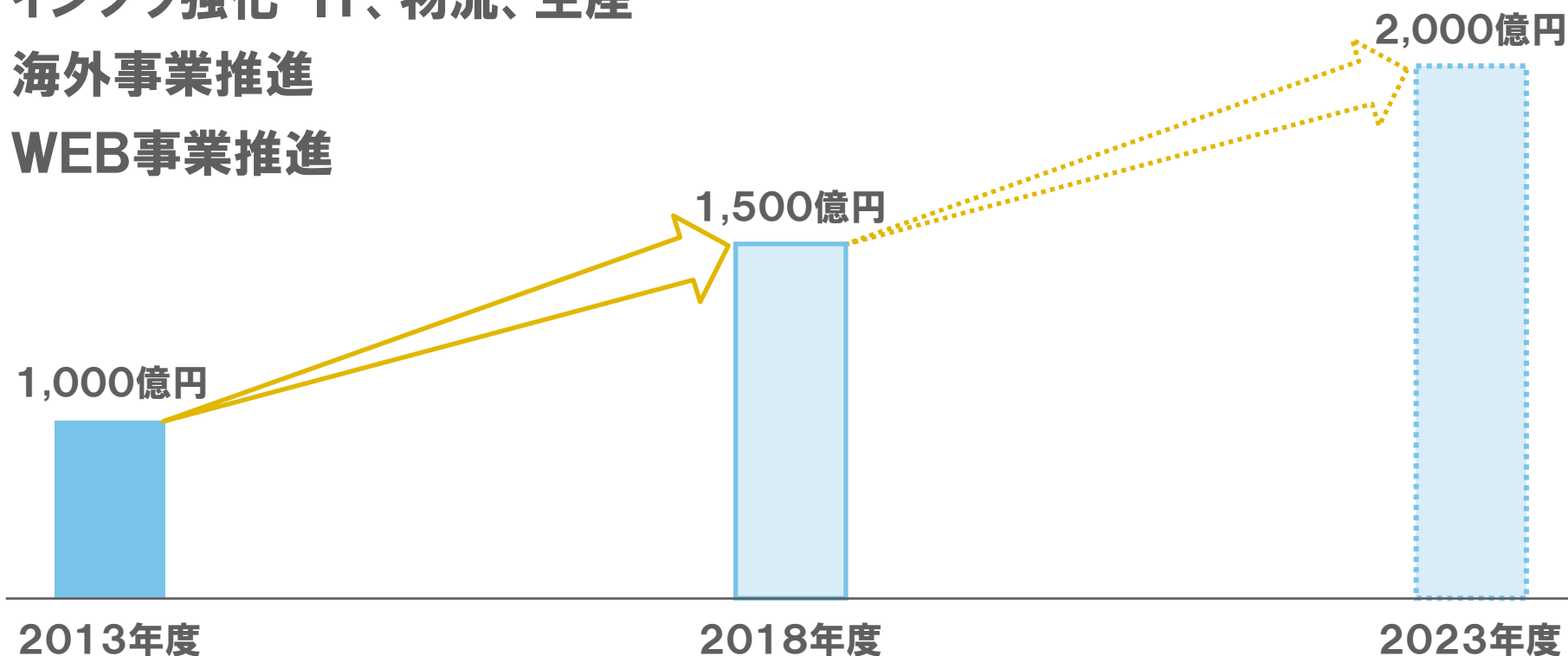
業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



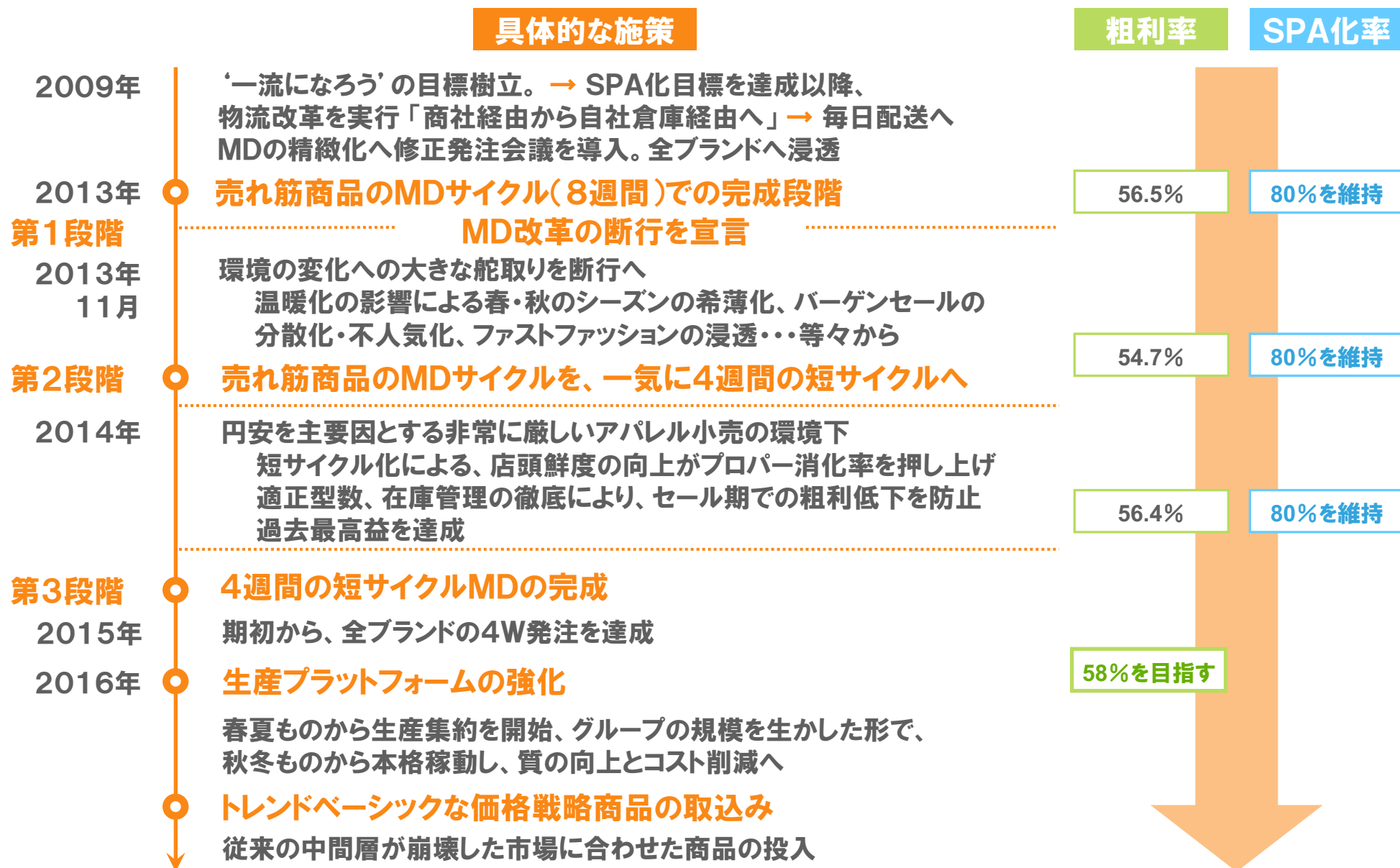
SMILE
IS
POWER.

トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
2 - ①. PAL流オムニチャネル
3. 「ベースヤード トーキョー」オープン
4. 3COINSキャラクターやコンテンツとのコラボレーション企画の取り組み
5. 9月 ももいろクローバーZ・10周年記念アルバム発売記念
3COINS×ASOKOコラボレーション商品発売
6. 大阪文化服装学院との産学協働プロジェクト



1. MD改革の進捗状況



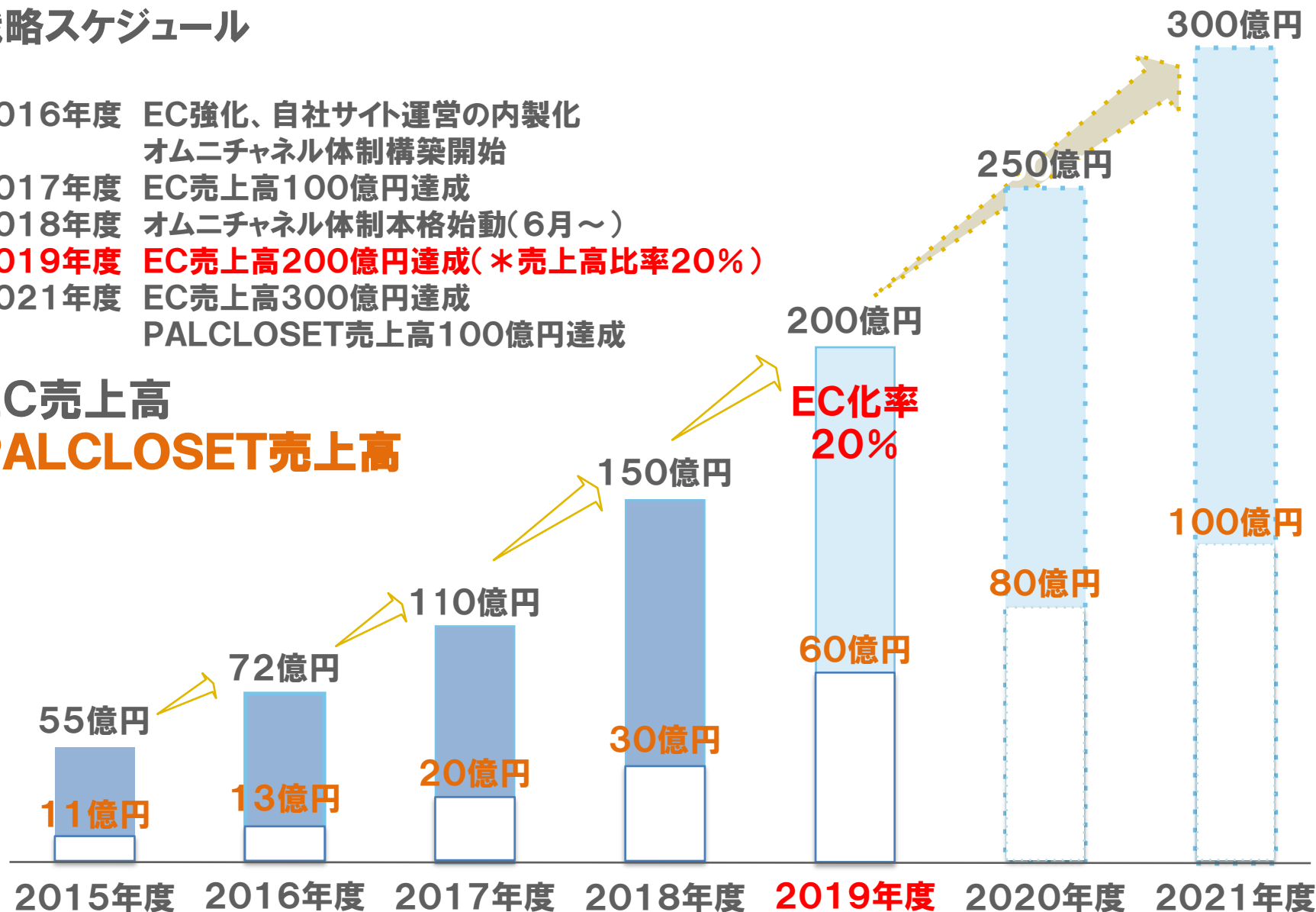
2. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制本格始動(6月～)
- 2019年度 EC売上高200億円達成(*売上高比率20%)**
- 2021年度 EC売上高300億円達成
PALCLOSET売上高100億円達成

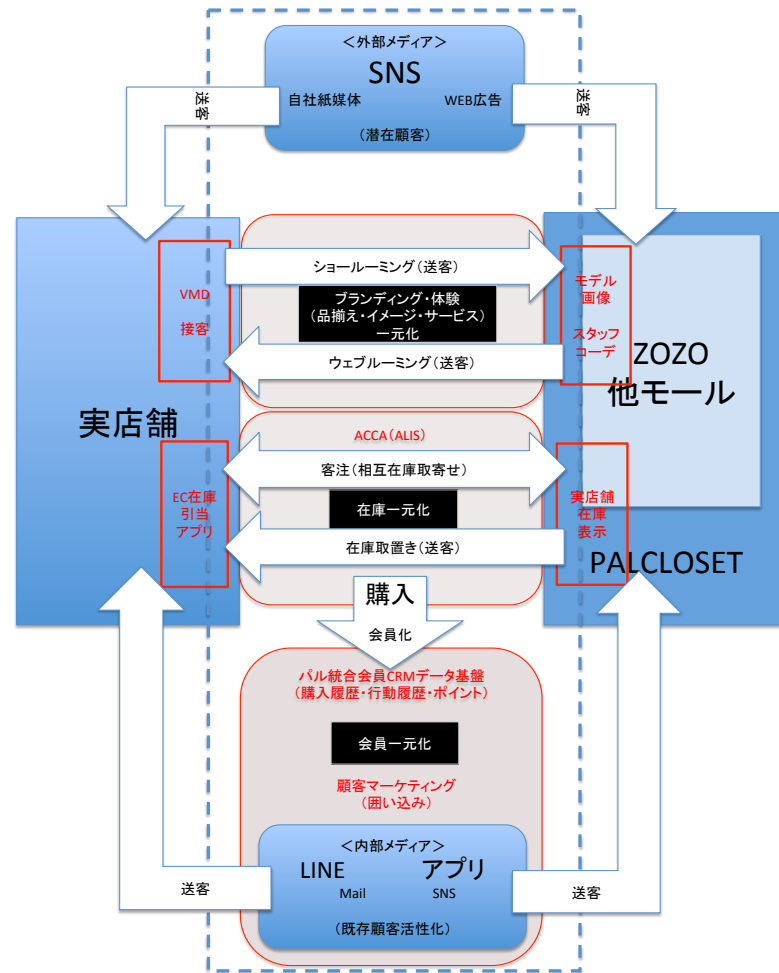
- EC売上高

- PALCLOSET売上高

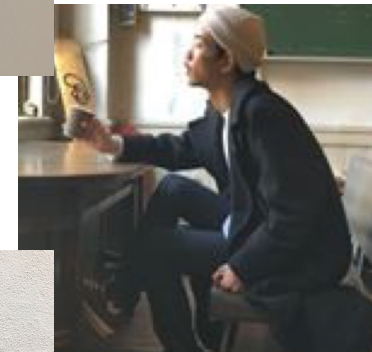
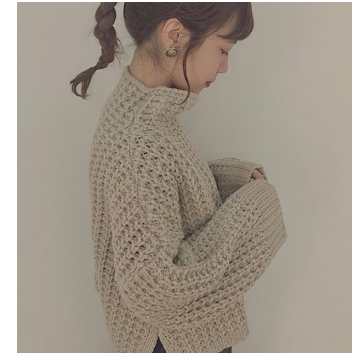


2-①. PAL流オムニチャネル

Technology



Human



×

実店舗・ECの境を超えた
スタッフの活躍

3. 「ベースヤード トーキョー」オープン

PAL GROUP HOLDINGS

2018年10月5日(金)、東京本社の1,2階に当社グループ初の複合型ショップ「ベースヤード トーキョー」をオープンしました。



10月5日、原宿・神宮前にオープンする「ベースヤード トーキョー」は、同社の「CIAOPANIC」「Kastane」「mystic」「WHO'S WHO gallery」「CIAO PANIC COUNTRY MALL」が出店する複合型ショップです。これまでの複合型ショップとは一線を画した、シームレスな売り場配置に加え、ファッションだけでなく新しいモノ・コトを提案できるスペースを常設します。

店舗名: ベースヤード トーキョー

オープン日: 2018年10月5日(金)

所在地: 東京都渋谷区神宮前6-12-22

営業時間: (月~土)11:00~21:00 (日)11:00~20:00 不定休

4. 3COINSキャラクターやコンテンツとのコラボレーション企画の取り組み

PAL GROUP HOLDINGS

雑貨ブランド「3COINS」は、積極的にキャラクターやコンテンツとのコラボレーション企画に取り組んでおり、新規顧客の獲得に努めています。



2月「ドラえもん IN 3COINS」



3月「3COINS×Sanrio characters」



5月「3COINS×Mr.Men little Miss」



6月「カードキャプターさくら クリアカード編×3COINS」



6月「3COINS×SESAME STREET」



7月「Pokémon and 3COINS」



8月「3COINS et YOSHIMOTO」



5. 9月 ももいろクローバーZ・10周年記念アルバム発売記念 3COINS×ASOKOコラボレーション商品発売

PAL GROUP HOLDINGS



- 発売初日の9月15日に3COINS POP UP SHOP(パル東京本社1F)にメンバーが来店し、コラボ商品発売記念記者会見を行いました。



○織研新聞9月17日発行



○秋田ビル1F POP UP STORE



○サインとメッセージを頂き、店内にて展示。

6. 大阪文化服装学院との産学協働プロジェクト

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルの全面指導のもと、大阪文化服装学院の学生自らがマーケティングリサーチ、コンセプト設定、内装・品揃え計画、バイイング、PR、販売などショップ運営のすべてを行う店舗「NUTS」を、9月15日大阪にてオープンしました。



店舗名：NUTS(ナッツ)

営業期間：2018年9月15日(土)～2018年12月24日(月)（期間限定）

所在地：大阪府大阪市北区中崎西2丁目1-7

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

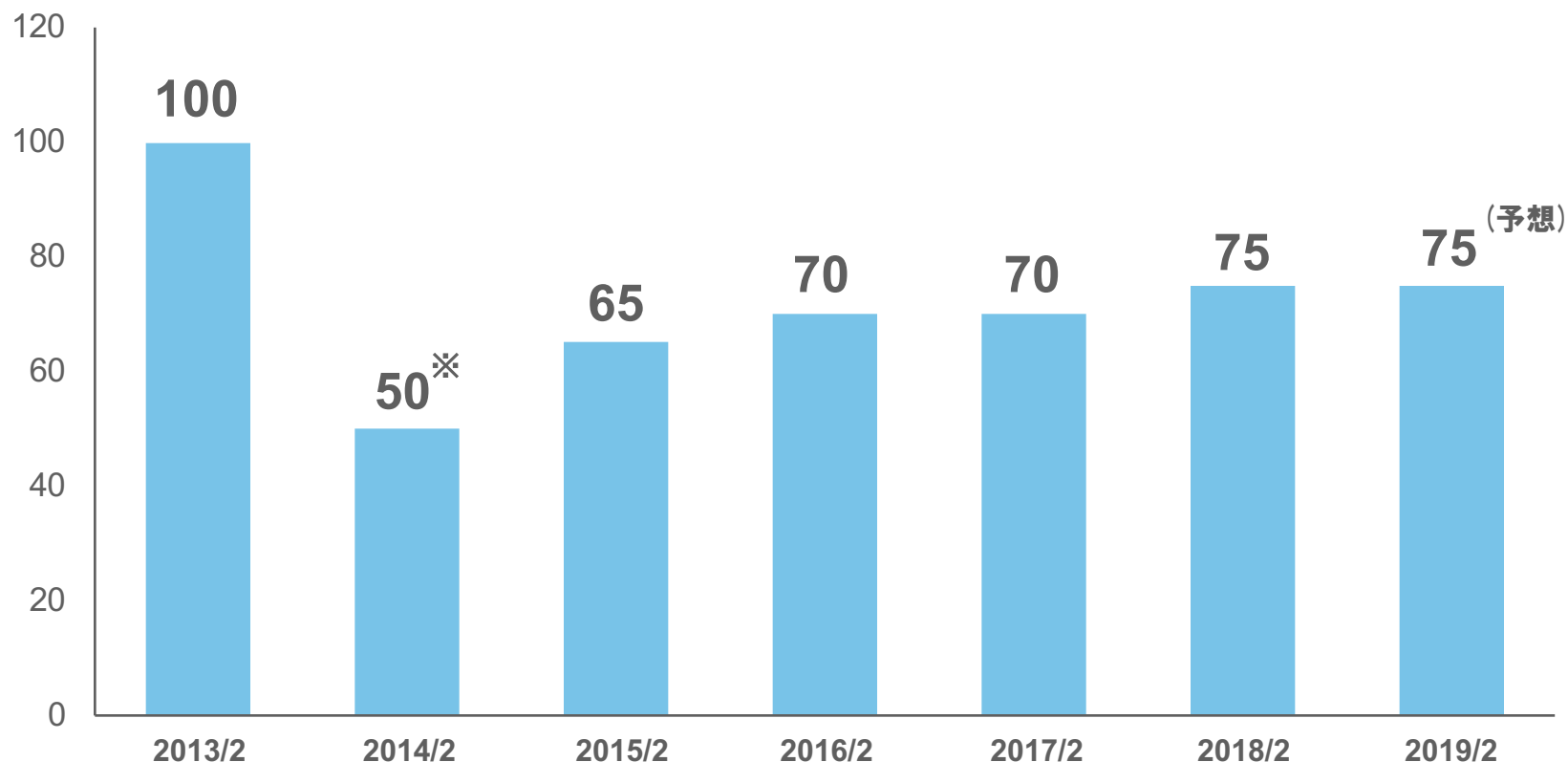
株主様への対応

1. 株主還元策について
2. 株主優待制度について
3. CSRへの取組みについて



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、75円を予定(前期比増減無し)



※2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済み

2. 株主優待制度について

『パルグループ全体の販売を促進する内容』で、導入を決定

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を導入いたしました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の3つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引

● 優待券の付与枚数

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



3. CSRへの取り組みについて

(1)当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR（Corporate Social Responsibility＝企業の社会的責任）とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わることを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることを考えています。



3. CSRへの取り組みについて

(2) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

3. CSRへの取り組みについて

(3) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は、社会貢献活動の一環として、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生(留学生を含む)に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル井上財団

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
従業員数	グループ合計3,345名(2018年2月末現在) (ほかに臨時雇用者数2,714名)
店 舗 数	947店舗

経営企画室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。